

モーツァルト住家復元事業30周年
モーツァルト生誕270周年

第一生命
Daiichi Life Group

STIFTUNG
MOZARTEUM
SALZBURG

特別記念イベント 国際モーツァルテウム財団コンサート

モーツァルト「悠久の旋律」

モーツァルト愛用の楽器とともに
その生涯へ想いを馳せるひととき

モーツァルトが演奏した楽器が
ザルツブルクより来日!



【コスタ・ヴァイオリン】



【ヴィオラ】

トリトンアーツ共催公演

2026

10/26(月) 18:20 開場
19:00 開演

10/31(土) 13:20 開場
14:00 開演

第一生命ホール

(晴海トリトンスクエア内) 都営大江戸線「勝どき」駅A2a出口 徒歩8分
※専用駐車場のご用意はございません。公共交通機関のご利用をおすすめしております。

無料
(事前申込)
全席指定/小学生以上

会場内ではモーツァルトゆかりの
貴重なコレクションも展示



J.J.ランゲ作
「ピアノを弾くモーツァルト」
(1789年)

最晩年のモーツァルトを伝える貴重な
なひとこま。
《ジュピター交響曲》KV 551を頂
点とする3大交響曲の完成直後に
描かれたと考えられる。



モーツァルトの遺髪

モーツァルトの遺髪は遺族や友人
たちによって大切に保存されてき
た。しかしモーツァルトの墓は
失われ血縁者も絶えたため、医学
的な検査はもはや不可能である。

モーツァルトの新発見の楽曲として、2024年に公表された
《ガンツ・クライネ・ナハトムジーク》KV 648 を含む特別プログラム

25th
ANNIVERSARY

第一生命ホール
25周年記念

主催: 第一生命
Daiichi Life Group

国際モーツァルテウム財団

共催: Daiichi Life
Group

NPO TRITON ARTS NETWORK / 第一生命ホール
認定NPO法人 トリトンアーツネットワーク

協力: SALZBURG
Stage of the World

ザルツブルク市観光局

後援: オーストリア
大使館
東京

オーストリア文化フォーラム
austrian cultural forum

©Internationale Stiftung Mozarteum (ISM)

モーツァルト住家復元事業30周年
モーツァルト生誕270周年

特別記念イベント
国際モーツァルトウム財団コンサート

モーツァルト「悠久の旋律」

【プログラム】

W.A.モーツァルト：ピアノ三重奏曲 第2番（未完成）ニ短調 KV442
セレナード ハ長調 KV648 《ガンツ・クライネ・ナハトムジーク》
ピアノ四重奏 第1番 ト短調 KV478 ほか

【出演者プロフィール】



アクツィオ・ピアノ・トリオ accio piano trio

ザルツブルク・モーツァルトウム大学在学中、2013年に結成されて以来、国内外で精力的かつ継続的に活動中。現在はクリスティーナ・シャイヒャー（ピアノ）、アレクサンドラ・マリア・ザイヴァルト（ヴァイオリン）、アンネ・ゾフィー・ケッカイス（チェロ）で活動し、ウィーン古典派の名作を核としつつ、女性作曲家や埋もれた作品にも積極的に光を当てている。第9回ブラームス国際室内楽コンクールで第2位（2022年）、カール・ヴェンドリング室内楽コンクールで第1位（2023年）、第30回ヨハネス・ブラームス国際コンクールで第3位（2024年）など、数々の国際コンクール等で受賞を重ねている。2021年にはローランド・ヴィラゾンを迎えて国際モーツァルトウム財団でデビューし、オーストリア文化フォーラムの協力でオーストリアやドイツなどのヨーロッパ各地をはじめ、アメリカやアジアなど世界各国で演奏を行い、その公演数は200回を超える。ワシントンD.C.（ケネディ・センターほか）とニューヨークでの公演を含む、初の米国ツアーも成功させている。近年は国際モーツァルトウム財団の「フューチャード・アーティスト」として活動するほか、オーストリア外務省（BMEIA）の支援プログラム「The New Austrian Sound of Music (NASOM)」にも選出され、オーストリアの文化親善大使として、今後多彩な海外プロジェクトが予定されている。今期は東京、ロンドン、パリ、ベルリン、プラハ、メヘレン（ベルギー）での客演に加え、ウィーンのORFラジオ文化会館でイランのウード奏者・歌手アヴィン・アフマディとの共演も予定されている。
※ヴァイオリン奏者は当初予定していたクレメンス・ベックからアレクサンドラ・マリア・ザイヴァルトに変更となりました



永峰 高志 Takashi Nagamine (ヴァイオリン)

東京藝術大学卒業。NHK交響楽団首席奏者として活躍、在団中功績が認められ有馬賞を受与される。同団退団後はN響メンバーによるアンサンブルとの共演などソリストとして活躍している。また新日本フィル、仙台フィル、山形交響楽団などのオーケストラにゲストコンサートマスターとして招かれ、高い評価と信頼を得ている。指揮者としてもシュトゥットガルト室内管弦楽団、新日本フィル、仙台フィル、N響団友オーケストラなどを指揮し、その演奏は非常に高い評価を得ている。国立音楽大学特任教授・招聘教授として後進の指導にもあたる。使用楽器はストラディバリウス・ヨアヒム1723年製（国立音楽大学所有）。



松実 健太 Kenta Matsumi (ヴィオラ)

桐朋学園大学を経て、英国王立音楽院を首席で卒業。1994年ライオネル・ターティス国際ヴィオラコンクール第2位と特別賞を受賞など国際コンクール多数入賞。現在は、国内を中心に様々な音楽祭等に出演している。2018年第4回～2026年第6回高松国際ピアノコンクール・セミファイナル室内楽奏者。東京学芸大学、昭和音楽大学などで後進の指導にもあたっている。八戸イカル国際音楽祭アーティスト。

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク

2001年東京都より認証を受けたNPO法人です。音楽活動を通じて地域社会に貢献するため、第一生命ホールを拠点とした公演事業と同ホール周辺地域を中心としたコミュニティ事業を軸に活動しています。皆さまのご支援のお蔭で、東京都より、2014年11月認定NPO法人に認定されました。



チケットお申込み方法(オンライン予約のみ)

<https://triton-arts.net>

※オンライン予約には初回のみ利用登録(無料)が必要です。



*全席指定、チケットはお1人様1枚必要です。*1回の受付で2名様までお申し込みいただけます。*先着順にて受付、自動配席となります。*定員になり次第、受付を終了させていただきます。*未就学児のお子様のご入場はご遠慮ください。*やむを得ず、演奏曲目、出演者が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

【お問合せ】トリトンアーツ・チケットデスク:03-3532-5702(平日11:00～17:00)

受付開始日:2026年8月26日(水) 11:00～

国際モーツァルトウム財団

モーツァルトの生誕地ザルツブルクにあり、モーツァルトの生家、住家等の保存管理、自筆譜等歴史的資料収集、研究、その成果の刊行を行っています。そのルーツは1841年までさかのぼり百数十点もの自筆譜、モーツァルト自身や父レオポルトの手紙、モーツァルトの所有品など、世界最大規模のモーツァルト関連資料を所蔵しており、近年では楽譜等のデジタル化も進められています。また、モーツァルトの生誕日を記念して、毎年1月末から2月初めにかけて国際モーツァルト週間(音楽祭)を開催し、モーツァルト生家と住家(舞踏教師の家)でのコレクション展示も行っています。



モーツァルトと第一生命

第一生命は1902年の創立以来、社会貢献活動の一環として芸術・文化分野への支援も積極的に行ってきました。その1つとして、世界で最も愛されている作曲家の1人であるモーツァルトの住家復元事業への支援があります。第2次大戦の際、爆撃により破壊された住家を1996年に復元させる事業への支援を行いました。これをきっかけとして、世界的に知られる国際モーツァルトウム財団との友好関係を築き、日本国内にてモーツァルトイベントを開催しています。



▲第2次大戦時、爆撃により破壊されたモーツァルトの住家



▲1996年復元修復完成

